

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書

団体名	NPO 法人アイゼン
-----	------------

取組の名称	百合ヶ丘・新百合ヶ丘子ども食堂		
実施場所	◆漁魚の海 麻生区百合丘1-16-36 ◆百合丘ルミナス保育園 麻生区百合丘1-9-2 ◆麻生プレップスクール 麻生区万福寺1丁目10-10		
対象地域	百合ヶ丘・新百合ヶ丘 近隣		
対象地域の特色・課題	◆特色 新興住宅街や高級マンションがある。他地域より定住した人が多い。小田急線が谷沿いにある、その両側が丘になっているような地形 ◆課題 待機児童、共働き家庭によるこどもが希望する居場所が少ない。共働き家庭への支援が少なく感じている人が多。学生のしたいボランティアの場所がない。		
取組の趣旨・目的	◆わくわくプラザや習い事から帰って一人ご飯を食べている子どもや、子育てで頑張っている働くパパ・ママが、地域で安全・安心に過ごせる居場所づくり。 ◆子ども・若者が健やかに成長できるよう、地元法人や店舗、地元住民や学生と連携・協働しながら、地域のつながり、互いに助け合い・支えあうことのできるまちづくり		
実施内容・実施スケジュール	月1~2回開催、年間13回開催 ◆漁魚の海、麻生プレップは通常通り開催 百合丘ルミナスで6回 ◆百合丘ルミナスで持ち帰り4回 ◆お餅配布3回(JAよりもち米をいただく)		
参加者の年代	子 5歳~13歳 親 30~45歳	定員 (1回あたり)	120名 ※6ヶ所で200名
実施頻度	月1回	活動日数 (年間)	13日

<p>スタッフ体制</p>	<p>理事 3名 開催場所のスタッフの協力 10名くらい ボランティア 30名程度 合計30～40名/回</p>
<p>連携する団体・ 連携の手法</p>	<p>◆実施場所 漁魚の海 麻生区百合丘1-16-36 百合丘ルミナス保育園 麻生区百合丘1-9-2 麻生プレップスクール 麻生区万福寺1丁目10-10 ※今年度は助成金対象外で他3ヶ所開設、柿生片平・中野島・南生田</p> <p>◆チラシを配布 多摩・麻生区の保育園・幼稚園・商店など40ヶ所以上</p> <p>◆WEB Facebook、Twitter、WEB ※WEB内広告を企業支援で掲載</p> <p>◆タウンニュース（企業支援で有料広告・無料取材）</p> <p>◆市政記者クラブへチラシの配布</p>
<p>取組実施により 見込まれた効果</p>	<p>◆同世代のお母さんが交流の場になってきた</p> <p>◆世代が変わっても保育園の子どもたちの口コミで広がっている（年齢層が変わらず、参加者が変わる・増えている。小学生よりも保育園・働く親と子どもでの参加が多い、特に「第2子以上の子ども複数と母＝3～4名での来場が多い＝一人で二人以上の子どもを食事させるのが大変だ」というニーズをつかんだ。昨年までは働く親子までのニーズまでしかつかめていなかった）</p> <p>◆保育園の帰りのお母さんの団体で来ることが多い。親子でわいわいしながら食べれる場所は少ないらしいです。</p> <p>◆小学生と親との待ち合わせ場所で使っている。</p> <p>◆小学生だけで参加する子も少しずつ増えている。</p> <p>◆西生田中学生のボランティアが3年間継続して、卒業した。</p> <p>◆寄付金が20万円程度集まった ①募金形式 ②振込</p> <p>◆麻生川桜祭りでの広報活動の認知度が広がっている。町田市からのボランティアの応募も出てきた。ただ残念なことに宗教団体の布教活動と疑いの目もありその払拭が今後の課題に。</p>

◆実施場所の認知がさらに進んだ。懸案だった新百合会場の参加者も後半期に増えた。

◆チラシを小中学校で配布できるようになりかなり増えている。

◆同日で多摩 SDC と連携して行っている。

◆参加者の問い合わせは WEB が多い。

◆園児が学生ボランティアと交わっている姿

◆わくわくぷらざのアルバイトがボランティアで加わっている。

◆学生ボランティアが急増。川崎市に元々住んでいる学生ボランティアが増えた。

◆協力企業のご家族のボランティアもある。

以上の効果が見込まれ、平成 31 年度からの継続的に効果があると見ている。

◆今年度はコロナ禍においても活動で苦勞をした。しかし大学生が地元にいることが多かったのでボランティアが急増した年になった。